



# 明星幼稚園 「めばえの時間」 学びの園庭整備事業 2025年度 実施報告

～すくわくプログラム活動報告資料～

2026年3月



学びの園庭整備計画（2023年度-2026年度）	2
学びの園庭整備計画（案）（2023年度-2026年度）	3
STEP 1 2023年度の実施内容（2024年3月実施）	4
STEP 2 2024-2025年度の主な実施内容	5
STEP 2 2025年度 各月の園庭整備 作業内容	6
STEP 2 2025年度の取組（園庭整備の状況）	7
STEP 2 2025年度の取組（教育プログラム・ワークショップ等）	8
2025年度 本事業の効果と評価（保護者向けアンケート結果から一部抜粋）	14
2025年度 園庭整備の課題と改善点	15
STEP 3 2026年度 東側園庭の整備計画（案）	16
STEP 3 2026年度のスケジュール(案)	17
まとめ	18

## 学びの園庭整備計画（2023年度-2026年度）

目的	「学びの園庭」構想のもと、園児が自然とふれあいながら主体的な学びを深める環境づくりを行う。 野菜栽培や昆虫観察などの体験型学習を取り入れ、好奇心や探究心を育む。 教職員・保護者・専門家と連携し、持続可能な園庭整備を目指す。
内容	野菜栽培や昆虫観察ができる花壇、季節変化を感じられる小道を整備し、一年を通じてあそびが学びになる「学びの園庭」を整備する。 教職員や保護者とともに専門家の支援・協力を得ながら進める。
効果	幼児期に好奇心と探究心を育む環境を整備し、豊かな自然体験を提供することで、子どもたちの将来の学びにおいて必要な科学的な思考力・表現力の基盤を築く
スケジュール	STEP 0 2023年度 10月 園庭整備に関するアンケートの実施 STEP 1 2023年度 2月~3月 中庭の野菜栽培、草花遊び用の資材を購入 STEP 2 2024年度~2025年度（2ヵ年） 中庭、門周辺の植栽・小道整備、製作物の検討（観察用具、雨量計等） STEP 3 2025年度~2026年度（2ヵ年） 東側園庭の整備（憩いの森の小屋、種のライブラリ、野外図書館等）
専門家	【委託先】 KoHo natural garden design 代表: 伊能美緒 【委託内容】 植物苗、資材の調達、体験教育指導、植栽・管理等

# 学びの園庭整備計画（案）（2023年度-2026年度）

## ①学びと栽培の園庭

植物を育てることで幼児期に自然との共生を学ぶ。  
 自分が植えた植物の世話をしていくことで、植物の生命力、生長の規則性や不思議、枯らしてしまうなど失敗など様々な体験を通して、大切さや大変さなどを知る。  
 継続的に物事に取り組む力が育っていく。  
 植物の生長を間近でみる体験を通して得た気づきや疑問から、自然界や自然の法則について興味や関心が湧き、科学的な思考へとつながっていく。



生き物とふれ合う。  
 蝶や昆虫が好むハーブや草花を植栽。間近で観察することでその生態や性質を体験的に知り学ぶ。食へる・食へられる関係を目の当たりにし、自然界の法則を学んでいく。  
 友達と協力して生き物の世話をしたり、同じ感動を味わい友達とのつながりを深めていく。



カラフルなプランターや草花をいれることで色水遊びや、蝶も多種くるような植栽を入れ教養繋げる植栽選び、また日々の管理を考慮して



STEP2  
2024-2025

学びと栽培の園庭

## ②四季とともにわくわく通園路

通園までの道のりが楽しくなる植栽と自然観察の仕掛け。  
 四季を通じ花が咲くことで自然を楽しく身近に感じる。  
 蝶や鳥がやってくるような仕掛けをし生物の多様性、連鎖を知ることで学びにつなげる。  
 自然の素材を使いアートの要素もより入れ美しい景観をつくりだしていく。



四季とともにわくわく通園路



## ③観察と憩いの森の小屋

園庭の片隅で秘密基地のような自然観察の学びの場。  
 探求心からも科学的思考力を高めていく。  
 ゆくゆくは野外図書館も検討していく。  
 木陰を利用し、堆肥スペースや昆虫の住処も設置。

観察と憩いの森の小屋



STEP3  
2025-2026

# STEP 1 2023年度の実施内容（2024年 3月実施）

- 中庭に各クラス用の野菜栽培用コンテナを設置
- 五感を刺激する植栽帯の整備
  - 昆虫の集まる植物
  - 遊びに発展する植物を植栽（植付けは今年度実施）
- 門周辺の植栽帯の整備
  - 園児自身が球根を植え付け 3月13日実施



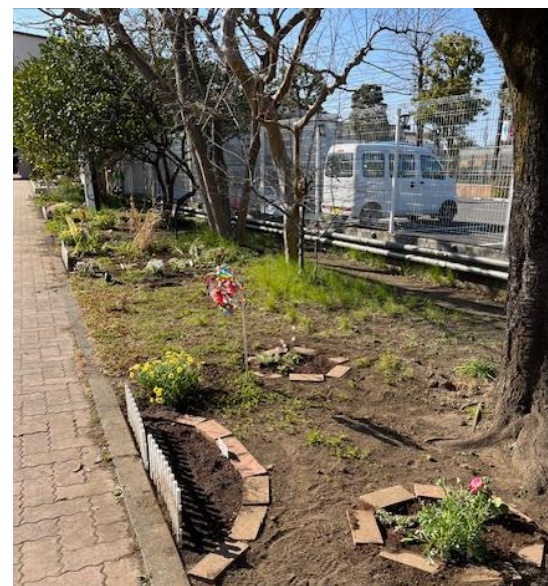
球根の植え付け体験



各クラスの野菜用コンテナ



興味関心をひくためのコンテナ



門周辺の植栽帯の整備)

### 中庭の充実

- 各クラス用の **野菜栽培コンテナ** を木製型の大きなものに変更し、園児が栽培・収穫の過程を体験。
- **五感を刺激する植栽**：香りや手触りの異なるハーブ類を植栽。
- トウモロコシやじゃがいもなどの身近な苗の栽培。

### 門周辺の花壇整備

- 四季折々の草花を植え、園児が自然の移り変わりを感じられる場を提供。
- 睡蓮鉢を設置することにより、水辺の生き物や植物の観察ができる環境を整備

### 体験型プログラム

- **園児向け**：ガーデナー指導による「ガーデニングタイム」を毎月実施。
- **教員向け**：「園庭の植物活用ワークショップ」開催（7月）。
- **鳥の巣箱**：公益財団法人日本鳥類保護連盟の指導による鳥の巣箱設置プログラムを実施。（1月）

### 補助金活用による拡充

- 東京都「すくわくプロジェクト」活用により、**花壇の拡充**や**鳥の巣箱**の設置。
- 毎月の「ガーデニングタイム」での収穫や収穫した植物の会食による園児の体験の充実。

## STEP 2 2025年度 各月の園庭整備 作業内容

実施日	作業内容	園児とのプログラム
4月4日	花壇・メンテナンス、打合せ	
5月1日	プランター植栽	押し花制作 レクチャー
6月5日	園庭手入れ	泥団子の中に種まき レクチャー
7月3日	園庭手入れ	押し葉制作 レクチャー
7月31日	職員研修・後期計画・植栽確認	
8月26日	園庭手入れ	
9月18日・24日	園庭手入れ、秋の花苗植え付け・設置	藍染体験 レクチャー
10月30日	園庭手入れ、秋の花苗植え付け	球根の植え付け レクチャー
11月13日	園庭手入れ、花苗植え付け、巣箱打合せ	コットンの種採取 レクチャー
12月2日	園庭手入れ、巣箱打合せ	
1月6日	園庭手入れ	
1月29日	花苗追加、手入れ作業	野鳥の巣箱かけ レクチャー
2月5日	園庭手入れ、巣箱打合せ	押し花で絵を描く レクチャー
3月23日	園庭手入れ	

## STEP 2 2025年度の取組（園庭整備の状況）



赤字：すくわくプロジェクト予算で整備 2023年度予算でイラスト作成（吉岡香織氏）

5月



2月実施予定の押し花制作に向けた、花摘み体験。

6月

泥団子に種を入れて、種団子作り。



7月

押し葉制作



ドクダミ・ミント・  
もみじの葉を使って  
活動を楽しみました。

6月～7月

野菜の収穫・会食体験



年長：なす・ピーマン



年少：ミニトマト・きゅうり



年中：枝豆・オクラ



### 9月 藍染体験 押し花で絵を描こう



年少



年中



上手に出来たよ！

年長

### 10月 球根の植え付け



みんなで植えました！



# 8 STEP 2 2025年度の取組 (教育プログラム・ワークショップ等)

11月 コットンの種採取

年少



クルクル上手にできるかな？

年中



糸紡ぎ機を使いました

年長



完成したよ！

# STEP 2 2025年度の取組 (教育プログラム・ワークショップ等) 3学期



鳥の巣箱設置に向けて各クラスで巣箱に絵を描きました。



鳥の巣箱を設置しました！

公益財団法人日本鳥類保護連盟の方に、シジュウカラや日本にいる鳥について、たくさん教えていただきました。



1学期に作った押し花や押し葉で素敵な絵を作りました！



収穫して会食する体験を  
たくさんしました！  
ブロッコリー、大根、ポ  
プコーンなど、どれもとて  
もおいしかったです！

### 学びの園庭整備の成果

- ▶本事業の目的である「自然に親しみながら学ぶ環境の整備」は、園児たちの探究心や協調性を育む機会として成果を上げてきている。特に、園庭活動を通じて、子どもたちが主体的に自然と関わる姿勢が見られ、友達との協力や興味を持って活動に取り組む様子が教員から報告されている。また、園庭の植物や生き物に対する関心が深まり、観察力や発見を楽しむ習慣が育まれていることが確認されている。
- ▶園児と教員との関わり方においても、「植物や昆虫について話す機会が増えた」「一緒に調べようと図鑑を見たり、植物の生長の観察や記録を意識的に行うようになった」などの声が寄せられ、学びが広がってきていることが窺える。教員にとっても、ガーデニングや自然観察の知識を深める機会となり、教育活動に活かす意識が向上してきている。

### 満足度

保護者アンケートより

- ・広い園庭と広い学園内のお散歩などで日常的に季節を感じ、植物や昆虫に触れる機会が多く、家に帰ってきて沢山お話ししてくれます。植物やお野菜は土の中でどうなっているんだろう、どうやって育つんだろう、花は何色だろう、それを実際にお友だちと見て触れて学んでいる点が特に良いと感じています。
- ・ガーデニングタイムでの生長観察や収穫体験、会食だけでなく、園庭のみかんを収穫して味わうといった身近な事柄を五感で学べる機会が豊富にある点に魅力を感じます。こうした実体験を通して、豊かな感性が育まれているなと思います。

### 園庭活動における子どもたちの変化

- ▶ガーデニングタイムや日々の活動を通して、友達と一緒に観察したり、協力して活動することが出来た。子どもたちの身近に常に植物があることで、自ら進んで水やりをしたり、自ら興味を持って動植物に接する姿が多く見られ、園庭活動が子どもたちの協調性や主体性の向上に寄与していることが窺えた。

### 教育プログラムの成果・効果（保護者アンケート自由記述抜粋）

- ・ガーデニングで野菜やお花を育てたり、昆虫の観察で情操教育に良いと思いました。
- ・ガーデニングタイムで植物に対する興味がわいた。

### 栽培管理・スケジュール調整

- 日当たりの影響により、一部植物の生育が不良。→植物選定や植栽場所の見直しが必要。
- 休暇期間の水やり不足で、一部植物が枯死。→自動水やり機の導入の検討。

### 保護者参加の機会拡充

- 今年度、保護者向けワークショップを企画したが、設定した日程が悪く、希望者が少なく、開催が不可能になった。保護者のみの参加であったので、子どもも参加できるものにしたたり、保護者が参加しやすい日程を設定したりするなどの工夫が必要である。
- KoHo社の協力で、草木染めやお正月飾りなど「植物を活用したプログラム」を検討してはどうか。
- 保護者の協力を得て、観察装置等の製作を検討

### 今後の対応

- 整備と園児とのプログラムの予算管理を綿密に行い、必要なメンテナンス費用を確保できるとよい。
- 今年度は子どもたちへのプログラムを中心に行ったので、来年度は学びの園庭の充実に向けて憩いの小屋やベンチ等の設置も検討していく。
- 子どもたちにとって無理のない活動にすべく、スケジュール管理をしっかりと行い、充実したプログラムになるようにする。

# 11 STEP 3 2026年度 東側園庭の整備計画（案）

2025年度の実施状況を踏まえて、STEP3の方針を検討

## 【検討事項】

### ①植栽帯の増設

- ・正門脇、プール脇などに植栽帯を新設し、季節の草花を植栽。

※猛暑のためコンテナ栽培が難しく、門周辺の花壇は日当たりが悪いため

### ②自然・環境学習の場を整備

- ・観察装置の製作・設置

製作物：根の観察、天秤、雨量計、野外図書館など

### ③憩いの森の小屋

絵本の読み聞かせや、収穫物を皆で味わう場、自然観察の場として活用し、園児が自然と親しむ空間を提供する。

※東京都の補助金の活用を検討



サルナシ棚



森の憩いの場



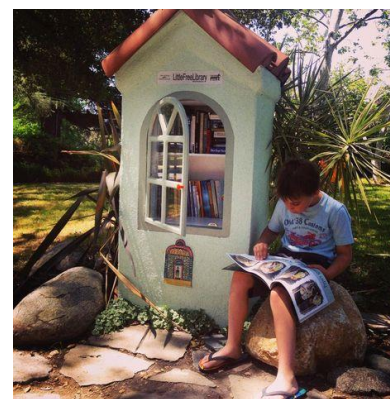
根の観察



天秤



雨量計



野外図書館

# 12 STEP 3 2026年度のスケジュール(案)

- 園児との体験プログラムは引き続きKoHo社の協力を得て実施。
- ガーデナーは専門知識を活かし、園庭の植栽管理・アドバイザー的役割を担う
- 種まきや収穫体験等は専門家のサポートを受けすぎずに、教員主導で各クラスで実施する方向に見直しを検討

		2026年度											
作業・検討		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	植栽帯の増設												
2	自然観察装置の制作												
3	憩いの森の小屋												
4	野菜苗												
5	種まき												
6	球根植え付け												
7	収穫体験												
8	親子イベント						※						
9	植栽メンテナンス												

### 園庭の「学びの場」としての寄与

- 2025年度の園庭整備では、KoHo社の協力のもと、園児が自然と触れ合いながら探究心を育む環境づくりが順調に進みました。

体験型プログラムの充実や園庭の多様な活用を通じて、子どもたちが主体的に学び、協力しながら活動する姿が多く見られました。子どもたちが様々な発見をしながら、動植物に触れる姿がたくさん見られました。

今年度初の試みである巣箱の設置では、なかなか興味を持たない子も、積極的に鳥を観察したり、鳴きまねをしたりして、親しむ姿が見られました。

- 一方で、日当たりが良好すぎるため、長期休暇中の水やりや植物の選定といった課題も明らかになりました。
- これらを踏まえ、次年度以降は、教育プログラムとの連携強化、植物の選定・管理見直しを行いながら、「学びの園庭」をさらに充実させていくことが求められます。

2026年度は東側園庭の整備を進め、より多様な学びの機会を提供できる環境づくりを行っていく計画です。

- また、本園庭整備事業終了後も、日々の活動が継続できるよう、活動運営体制の整備を進め、充実した園庭活用へとつなげていくことが重要であると考えます。

